

# 神奈川県議会議員

# 石川ひろのり

## 県議会レポート 2019 vol. 16

石川ひろのり事務所 〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202  
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎9階  
TEL 045-285-0721 FAX 045-285-9021

<http://www.hiro-ishikawa.jp/>  石川ひろのり 



## 県税の使い方を考える。外国人観光客受入環境整備に188億円!?

### 国際文化観光・スポーツ常任委員会での石川ひろのりの主な質問

### 外国人観光客受入環境整備に188億円!?

**石川** 来県された外国人の方が県内観光を楽しんでいただくためにWi-Fi整備や外国語案内板の設置、多言語パンフレットの作成など環境整備をすることは理解をする。昨年「受入環境整備協議会」において、**今後5年間で188億円の整備費用**が掛かると報告があったが約1年経過した中で現状はどうなっているのか。

**国際観光課長** 188億円は当時の協議会で試算をした最大金額である。現在、国及び県の補助金を活用しながら受入環境整備を進めている。

**石川** 受入環境整備協議会で、受入環境整備費用の在り方なども検討された。その際、**宿泊税**についての議論がなされ、すでに入湯税を徴収している箱根町や業界団体から難色を示され、宿泊税の導入検討は見送られたと認識している。しかし、今年6月難色を示した箱根町が宿泊税を検討するとの報道があった。

宿泊税はすでに東京都、大阪府、京都市などで導入され、福岡県では**県と福岡市の双方が導入を検討し二重課税**となる可能性も出てきている。一方、国では来年1月7日から国際観光旅客税が適用され、出国1回につき1,000円が徴収されることになる。宿泊税の認識と国際観光旅客税がどのような形で県に還元されるのか伺う。

**国際観光課長** 国際観光旅客税は、現段階において、多言語表記、無料公衆無線LAN整備、トイレ洋式化、キャッシュレス対応4項目をセットで行う事業者に対し、費用の2分の1を補助するとの情報を得ている。今後、県内民間企業団体に情報を周知していく。

**国際観光局長** 宿泊税については、箱根町で検討されていることは承知している。一方、現段階で県内他の市町村が検討を進めている情報は入っていない。今後、宿泊税が県内で乱立するようなことがあれば、調整も含め県が将来的に検討することもあるかもしれないが、今すぐに県が宿泊税を検討することはない。

**石川** 今までと同様なやり方や考え方ではなかなか県民理解は得られない。県は来年度予算も600億円の財源不足と発表している。県民は観光客誘致事業よりも、**高齢者福祉の問題、待機児童の問題など、目の前の生活を何とかしてほしいという思いもある**。だからこそ、**県税ですべて補うのではなく、宿泊税を含めた受益者負担の在り方を検討する時期**に来ていると申し上げておく。

### 二重行政ともたらえられるウェブサイト事業について

**石川** 知事が肝いりで進めている外国人観光客誘致事業1,000本のツアーについて幾度となく、量より質が大事であると提案をしてきた。2年間で約1億円の県税を使っているウェブサイト「東京デイトリップ」の問題点を指摘し、指摘翌日には修正・削除をされていたが、原因・問題点は何であったのか。今後の対策はどのようになっているのか。

**国際観光課長** 指摘された問題点について調査したところ、更新作業の際、更新対象データの指定を誤ったために一部モデルコースが表示されないという原因が判明した。これを受け掲載中の全対象データの修正・確認作業を実施し、今後は月に一度、定期的に同様の不具合がないか確認作業を行うこととした。

**石川** ウェブサイトにはカテゴリーで検索するシステムがあるが、例えば、箱根エリアで4月運行開始をした「忍者バス」、三浦エリアで10月運行開始の「オーブントップバス」、県が推奨し4月にオープンした未病の体験施設「ピオトピア」でさえ掲載されていない。観光ウェブサイトは**情報のスピード感が大切**である。箱根、鎌倉、三浦、横浜など主観光地では県より詳しい観光案内ウェブサイトがあるのだから、そこへリンクを貼り連携すればよいわけで、わざわざ県が各観光地と重複した事業を行う必要はないと考える。**2年間で約1億円もの県税を使い、二重行政ともたらえられるこのウェブサイト事業の見直しを検討すべき**と指摘しておく。

### 横浜市営地下鉄新百合ヶ丘駅延伸など「県の予算編成に対する要望書」を黒岩知事に提出

11月、川崎市選出県議会議員の会幹事として「平成31年度神奈川県予算編成に対する川崎市からの要望書」を黒岩知事に提出。主に「横浜市営地下鉄新百合ヶ丘駅までの延伸」「柿生駅前南地区の市街地再開発事業」について説明しました。**横浜市営地下鉄延伸**については、私自身も何度も県議会で取り上げ、「湘南台駅(藤沢市)まで延伸の際、県は28億円の費用を負担した。新百合ヶ丘駅延伸においても、費用負担も含め積極的に延伸に向けた取組みを行うべき」と主張し続けています。**柿生駅前南地区の整備**については、耐震・防災機能を強化した防災拠点の街として、活力ある街づくりが期待されます。地下鉄事業同様、県として財政措置を講ずることを強く要望しました。

県予算は来年度も600億円の財源不足と発表されています。厳しい財政状況の中、私たちが納めた県税をより効果的かつ効率的に使われるよう今後も県に対して強く要望して参ります。



横浜市営地下鉄の延伸計画



